

奈良山供養塔

開眼法要報告



去る四月七日(土)に、奈良山供養塔開眼法要並びに御披露目会を行ないました。当日は、肌寒い一日にもかかわらず大勢の方にお越しいただき、誠にありがとうございました。今後も、皆様に愛される心地良い憩いの場所となるよう努力して参りますので、宜しくお願ひ申し上げます。

奈良山供養塔

内見会
8/11(土)・12(日)
AM 9:00~17:00
説明会及び納骨室をご案内致します。
是非ご来苑下さいませ。

「お墓」は私達にとって、ご先祖様のご冥福を祈り、尊い命を残してくれたご先祖様に感謝する場所です。それは、自分や家族が幸せになる為に、ご先祖様の力に頼る事がしばしあるからです。「お墓」はあっても守っていく子孫(継承者)がない場合があります。そのような場合、永代供養塔(奈良山供養塔)が「お墓」になります。今まで祀られていたご先祖様を、永代に渡ってお祀りする事が出来る奈良山霊苑の永代供養について、是非ご相談下さい。

奈良山供養塔への移行について



移行とは、墓守がない場合や、あらゆる諸事情によりお墓の継承が出来ない場合に、既存墓から**奈良山供養塔(永代供養)**へお骨を移すことです。

お墓は、抜魂法要等を行なった後お骨を出し、私共が責任を持って撤去、整地致しますのでご安心下さい。尚、棹石(〇〇家之墓と彫り込みしてある石)につきましては、長い間手を合わせて拝んでいましたので、霊苑内にある先祖墓供養霊域へと移し、毎年春にご供養を行います。当霊苑の墓地から奈良山供養塔へ移行する場合は、

- ① 墓石撤去費用
- ② 舞台撤去費用
- ③ 棹石供養料



の費用がかかりますが、撤去費用(①+②)の半分以上をこちらが負担致します。奈良山供養塔への移行をお考えの方や詳細を知りたい方は、管理事務所までお問合せ下さい。

植樹した桜・・・

早春から初夏まで、桜を楽しんでいただきたい想いで、3月に植樹したいくつかの桜に蕾ができ、開花しました。花を咲かせるには数年かかると思っておりましたが、ほんのりと桃色がかかった桜に心躍らせました。桜はおしゃべりな木ですので、会話を楽しんでみてはいかがでしょうか。



これから数年、数十年かけて立派な桜の樹になっていく様子を皆様にもお伝えしたいと思います。

お墓セミナー 随時開催



4月より月1回第2木曜日(次回8月9日予定)に山下組合長による“お墓セミナー”を開催しております。

- ◎どなた様もご参加いただけます
- ◎参加料 無料
- ◎時間 午前10時~12時
- ◎場所 管理事務所2階

お墓参りや先祖供養をなぜ行なうのかを一緒に学びましょう。また、供養事等についてのご相談もお承り致します。尚、日時につきましては変更の場合がございますので、管理事務所にてご確認下さいませ。

年間管理料について

平成24年度の年間管理料を**10月29日(月)**にお引き落としをさせていただきますので、口座残高確認の程宜しくお願ひ致します。

尚、口座振替依頼書のご提出が済でない方は、用紙にご記入・ご捺印の上、ご提出の程重ねてお願ひ申し上げます。

ご利用者様へお願ひ

◆ご名義人様の住所・氏名等が変更になられた場合、又は普通墓地のご名義人様が亡くなられた場合には、変更手続きが必要になりますので、管理事務所までお知らせ下さい。

◆墓石建立の際には、“墓石設置申請書”をご提出いただきます。墓地利用者様のご記入・ご捺印と、施工業者様のご記入・ご捺印等が必要になりますので、管理事務所までお知らせ下さい。

円滑な管理体制が行なえますよう、皆様のご協力をお願い致します。

事務所に、お墓参り用お線香を、一把無料にてご用意しております。お気軽に、お立ち寄り下さい。暑さ厳しき折、お身体には充分お気をつけてお過ごし下さいませ。

発行元：奈良山霊苑管理事務所
〒798-1351
愛媛県北宇和郡鬼北町奈良4230-1
電話番号 0895-45-0164
FAX 0895-45-2860
http://narayama-reien.jp
営業時間 9:00~17:00

心縁

この趣味



榊山下石材
マネージャー
古田口

私どものお客様の中には、とても素敵なお趣味をお持ちの方が沢山いらっしゃいます。

第一回目の今回は、城川町にお住まいの中越久道さんの山里中越園（やまさとなかごしえん）をご紹介します。



中越さんお手製の看板

久道さんが庭園作りを始めたきっかけは、三十代の頃、当時谷を渡らないと行く事が出来なかった耕作地、コンクリートの橋を掛けた事です。橋を掛けた事で長い間荒地だった耕作地に、会社の休日を利用して作業されていましたが、なかなかはかどらなかつたようです。ですが、少しずつ形になっていく庭園に、喜びと楽しみみの時間となっていくようです。

その後、台風や大雪で耕作地にある杉が倒れ片付けに困っている時、丸太小屋を建てようと思いついたそうです。



久道さんは丸太小屋を建て始めて、畑の石垣の修理を行い、畑の周りに草花や花木を植え、手作り庭園が誕生しました。広さ一万平方メートルもある庭園のお手入れは大変でしょうが、芽が出た、花が咲いたなどの日々の変化を楽しみながら過ごされています。

奥様も、18年程前から久道さんのお手伝いを始め、野菜作りにも精を出していらつしゃいます。

中越さんご夫婦は、お花見をしたり、お弁当を食べたり、丸太小屋で寝転んだり、ゆったりとした時間が流れる庭園で過ごすことがお気に入りのようです。取材当時は、掲載しているシヨウブやツバキなどが色とりどりに咲いていました。また、9月に入ると、キボウシ（ユリ科）の花が咲き始めるそうです。

城川町の宝泉坊売店では、スイカやトウモロコシ・枝豆などを販売されています。



定年を機に、山里中越園では、四季折々の美しい花が目を楽しませてくれ、観賞する事も出来るそうです。

素敵な笑顔で作業されている中越さんご夫婦は、今も庭園作りに励んでおられます。意欲的に取り組み、創意工夫をされた庭園を眺め、訪問する度に癒されました。普段、自然と戯れる事が無い日々を過ごしていますが、中越さんご夫婦の庭園で、花の香りや、マイナスイオンに包まれリフレッシュさせていただきました。

中越さんご夫婦の仲睦まじく庭園作りをされている様子から、お二人の愛情の深さを感じる取材でした。

中越さんご夫婦



今回の取材にご協力頂きありがとうございました

